

令和2年度 市政世論調査

報告書 概要版

この報告書概要版は、令和2年6月19日～令和2年7月3日にかけて実施した「令和2年度市政世論調査」の主な結果をまとめたものです。

< 目次 >

I. 調査の概要	1
II. 調査回答者の属性	2
III. 調査結果	4
1. 暮らしや居留意向について	4
2. 越谷市への愛着度と魅力配信について	5
3. 越谷市の伝統的手工芸品について	6
4. 市内の公共交通について	7
5. 景観（風景）について	8
6. 地域医療体制について	9
7. 人権全般に関する意識について	10
8. 男女共同参画について	11
9. 自殺防止について	12
10. 自治基本条例について	13
11. 多文化共生のまちづくりについて	14
12. マイナンバー制度について	15
13. スポーツ・レクリエーションの実施状況について	16
14. 広報について	17
15. 越谷市の施策について	18

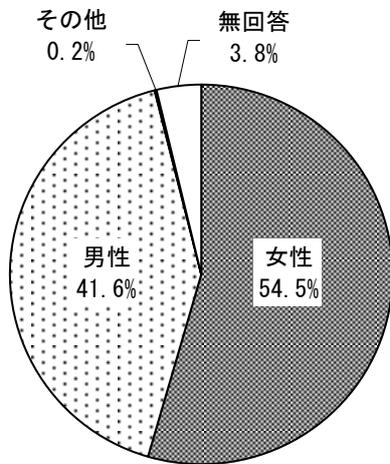
I. 調査の概要

- ◆ 調査地域 : 越谷市内全域
- ◆ 調査対象 : 市内在住の18歳以上の男女5,000人
- ◆ 抽出方法 : 住民基本台帳より無作為抽出
- ◆ 調査方法 : 郵送法（郵送配布・郵送回収）
- ◆ 調査期間 : 令和2年6月19日～令和2年7月3日
- ◆ 回収結果 : 有効回収数2,925人 回収率58.5%

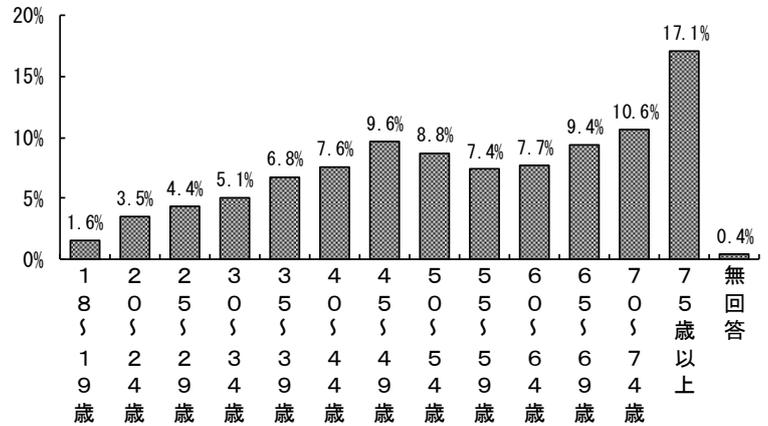
II. 調査回答者の属性

回答者の属性は以下の通りである。

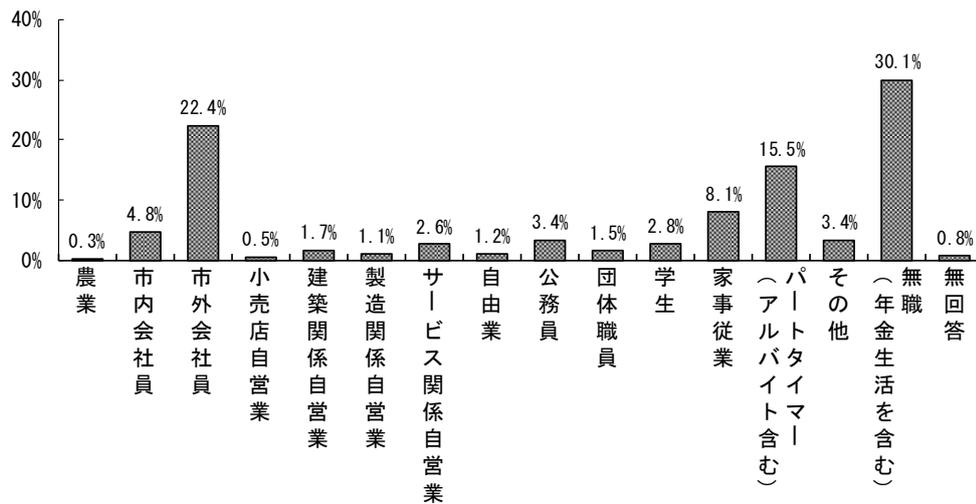
◆性別 (n=2,925)



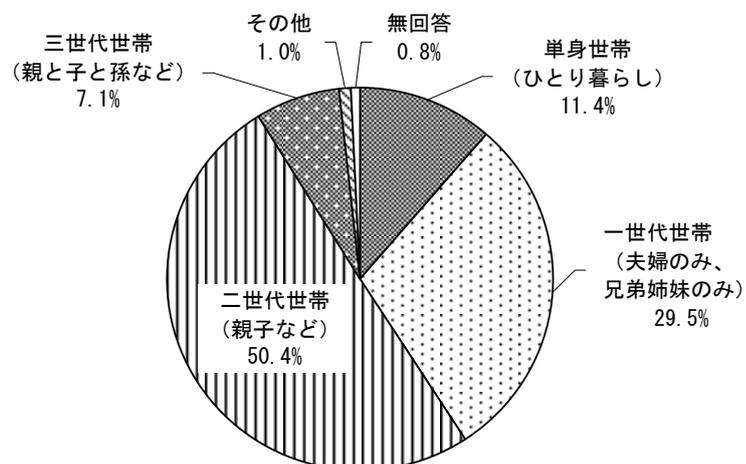
◆年代 (n=2,925)



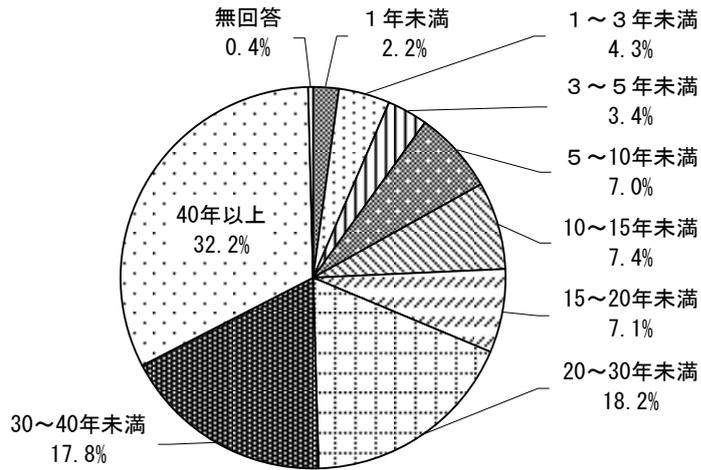
◆職業 (n=2,925)



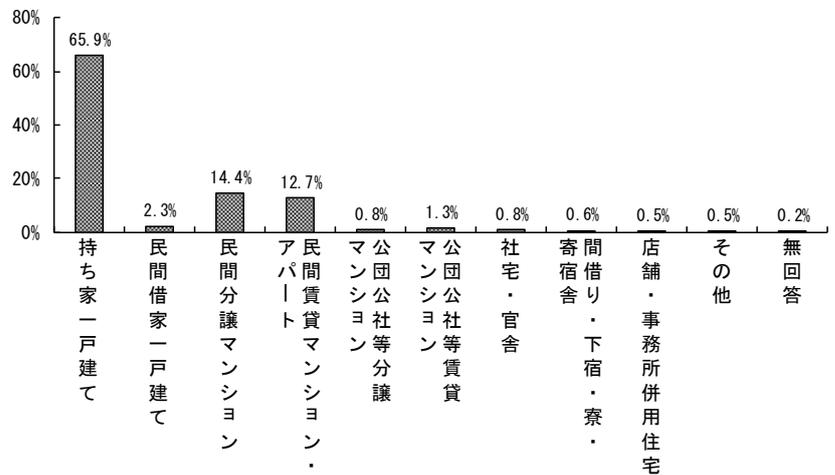
◆世帯の状況 (n=2,925)



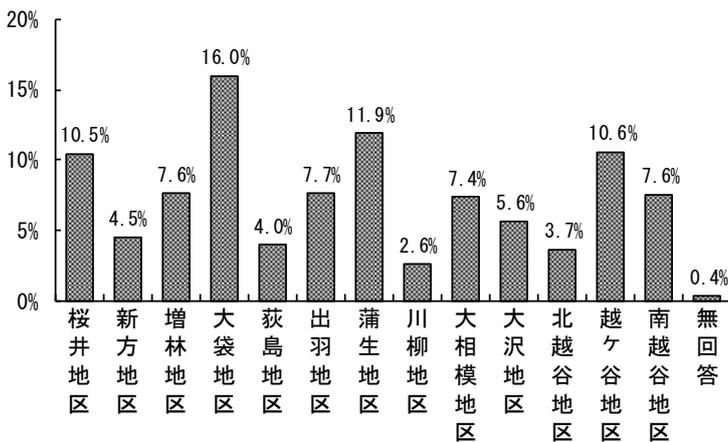
◆居住年数 (n=2,925)



◆居住形態 (n=2,925)



◆居住地区 (n=2,925)



Ⅲ. 調査結果

1. 暮らしや居留意向について

- 暮らしやすいと感じるまちは、「災害に強く犯罪が少ない安全性の高いまち」が6割半ばで最も多い。
- 現在の暮らし向きには『満足』（「十分満足している」と「十分とはいえないが、一応満足している」の合計）が6割強。
- 『定住意向』（「ずっと住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」の合計）は7割半ば。
- 『転居意向』（「どちらかといえば引っ越したい」と「引っ越したい」の合計）は1割半ば。その主な理由は、「交通の便が悪いので」が2割弱で最も多い。
- 越谷市に住み暮らすことを勧めたいかは、『勧めたい』（「大いに勧めたい」、「勧めたい」、「どちらか」と勧めたい」の合計）が約6割。

図 1-1 暮らしやすいと感じるまち（上位 5 項目）
(n=2, 925)

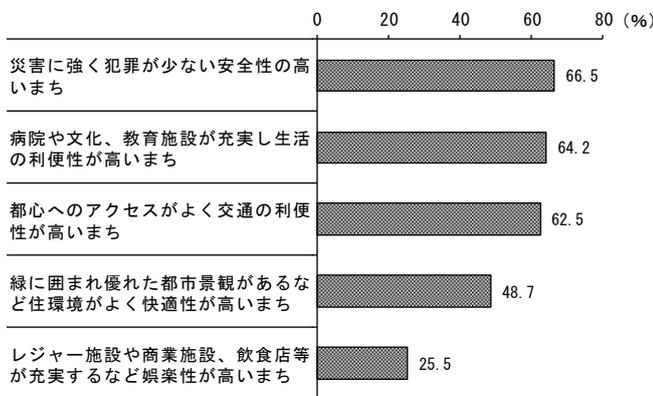


図 1-2 現在の暮らし向き (n=2, 925)

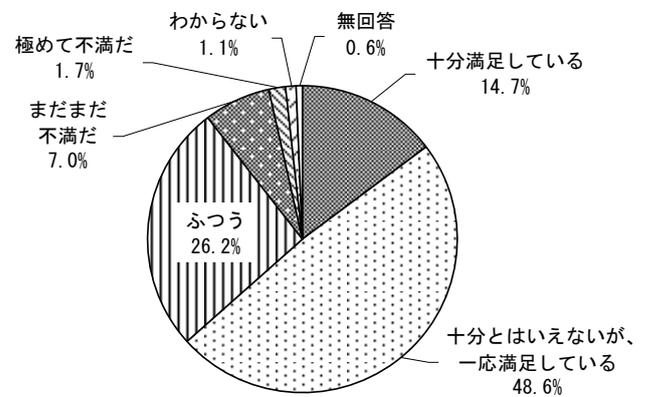


図 1-3 居留意向 (n=2, 925)

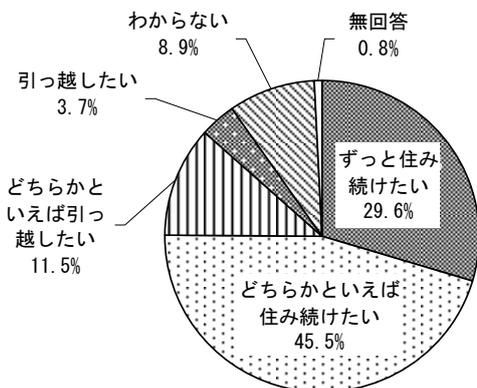


図 1-4 転居意向の理由（上位 5 項目） (n=444)

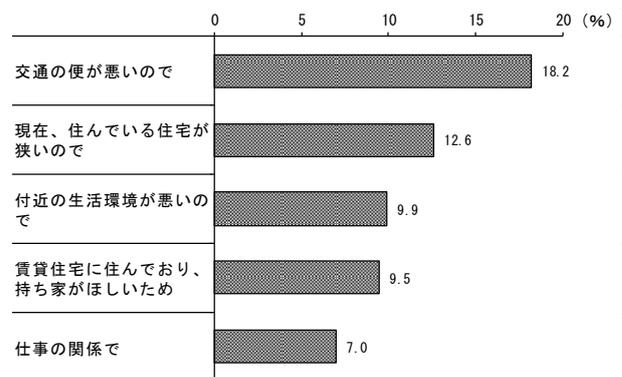
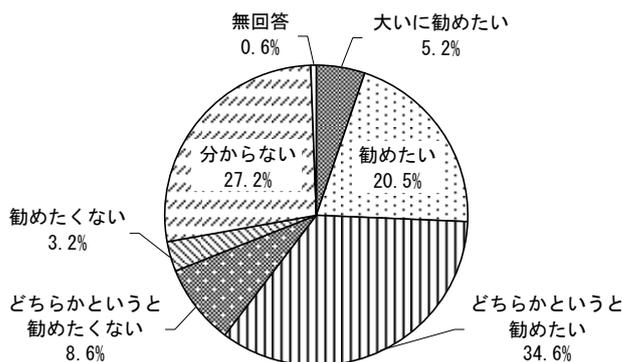


図 1-5 越谷市に住み暮らすことを勧めたいか (n=2, 925)



2. 越谷市への愛着度と魅力配信について

- 越谷市への愛着は、『愛着がある』（「とても愛着がある」、「愛着がある」、「やや愛着がある」の合計）が約7割。
- 愛着がある理由は、「交通の利便性がよく、都内等に近い」が約7割で最も多い。
- 越谷市の誇れるものは、「イオンレイクタウン」が6割半ばで最も多い。

図 2-1 越谷市への愛着 (n=2,925)

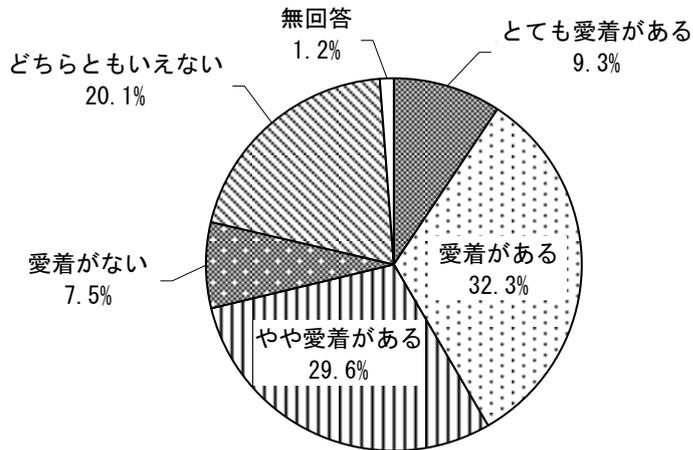


図 2-2 愛着がある理由 (上位 5 項目) (n=2,083)

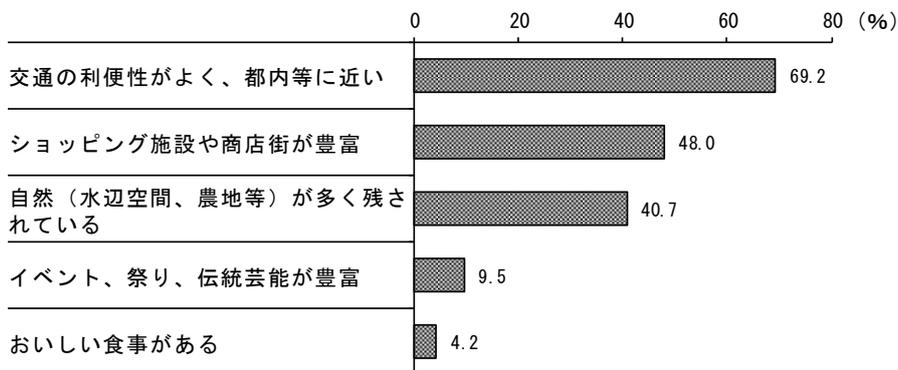
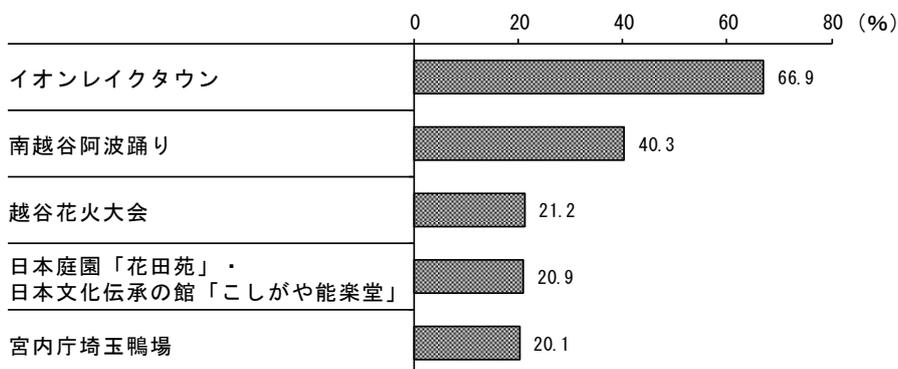


図 2-3 越谷市の誇れるもの (上位 5 項目) (n=2,925)



3. 越谷市の伝統的手工芸品について

- 越谷市の伝統的手工芸品の認知度について、『知っている』（「買ったことがある」と「知っているが買ったことはない」の合計）は、「越谷だるま」が7割弱で最も多い。
- 「買ったことがある」は、「越谷手焼きせんべい」が3割半ばで最も多い。
- 越谷市の伝統的手工芸品に期待する取組みは、「技術の継承（後継者の育成）」が4割弱で最も多い。

図 3-1 越谷市の伝統的手工芸品の認知度（n=2,925）

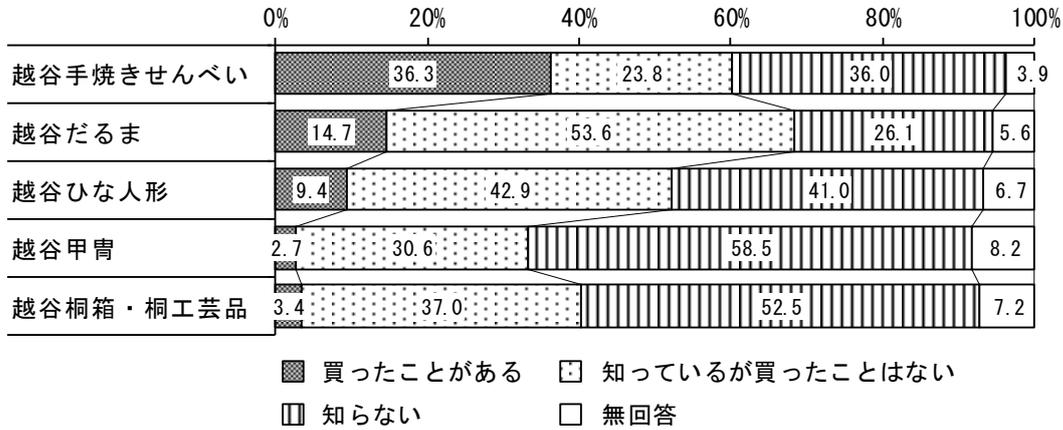
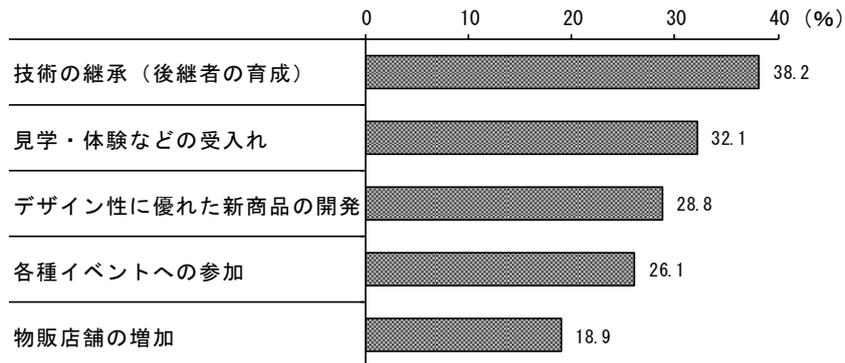


図 3-2 越谷市の伝統的手工芸品に期待する取組み（上位 5 項目）（n=2,925）



4. 市内の公共交通について

- 公共交通の利用有無について、鉄道は「常に利用している」が3割弱、バスは「全く利用しない」が4割半ばで最も多い。
 ○公共交通の満足度について、『満足』（「とても満足している」と「やや満足している」の合計）は鉄道が8割半ば、バスが5割半ば、タクシーが6割強。

図 4-1 公共交通の利用有無 (n=2,925)

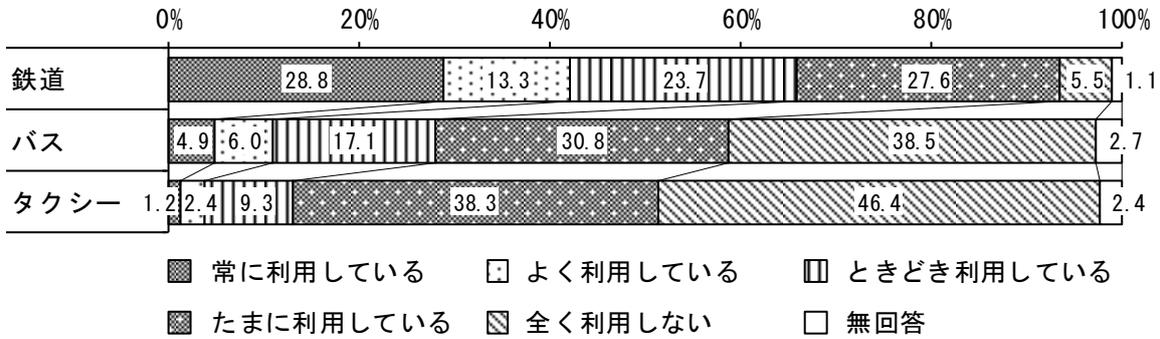
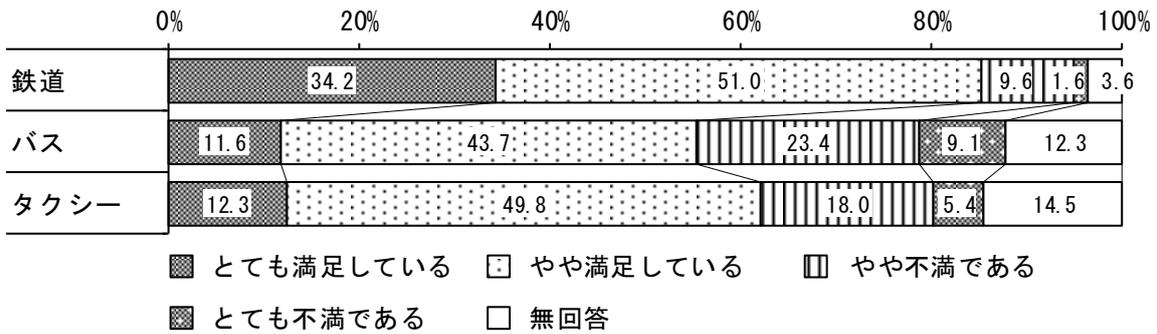


図 4-2 公共交通の満足度 (n=2,925)



5. 景観（風景）について

- 住まいの地区の景観（風景）の満足度は、『満足』（「満足している」と「十分とはいえないが、おおむね満足している」の合計）が7割弱。
- 良い景観（風景）のまちをつくるために行政に望むものは、「良好な景観づくりに役立つ公共事業」が約5割で最も多い。

図 5-1 景観（風景）の満足度 (n=2, 925)

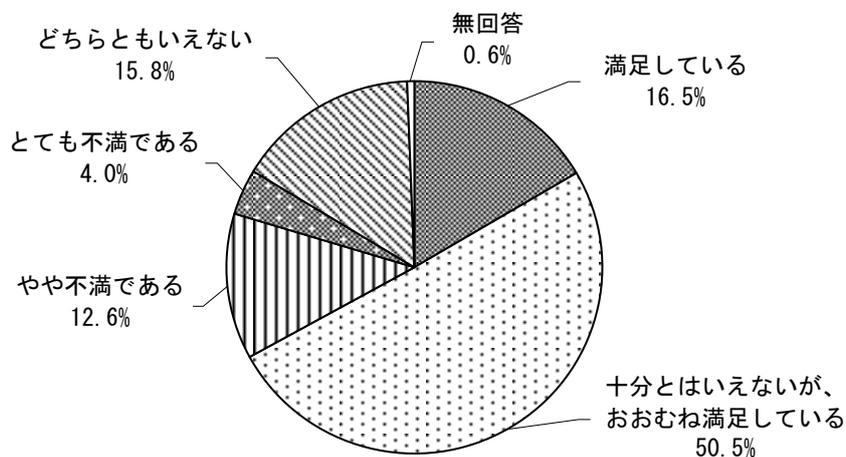
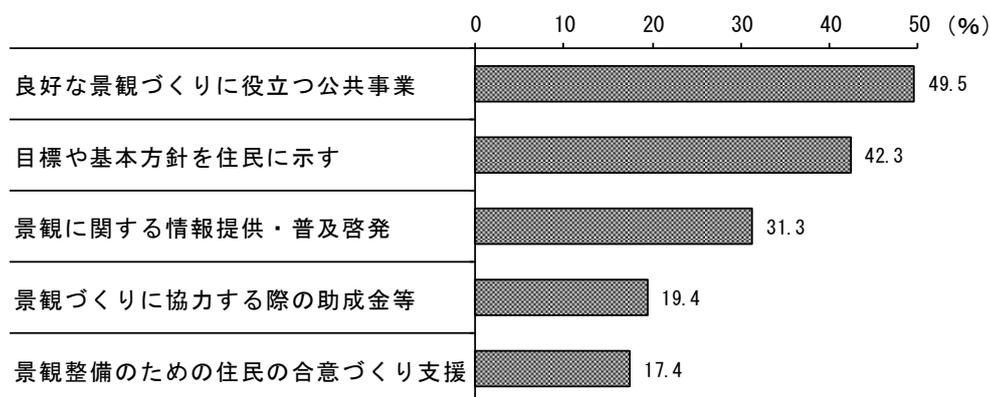


図 5-2 行政に望むこと（上位 5 項目） (n=2, 925)



6. 地域医療体制について

- 地域医療体制の認知度は、「越谷市夜間急患診療所」が約8割、「休日当番医制度」が7割半ば、「埼玉県救急電話相談（#7119）」が約5割、「埼玉県A I 救急相談」が1割強。
- 医療機関の情報の入手方法は、「インターネットで調べる（越谷市・埼玉県公式ホームページを除く）」が5割強で最も多い。
- 夜間や休日における急病の対応は、「可能な限り翌日まで我慢する」が5割強で最も多い。

図 6-1 地域医療体制の認知度 (n=2,925)

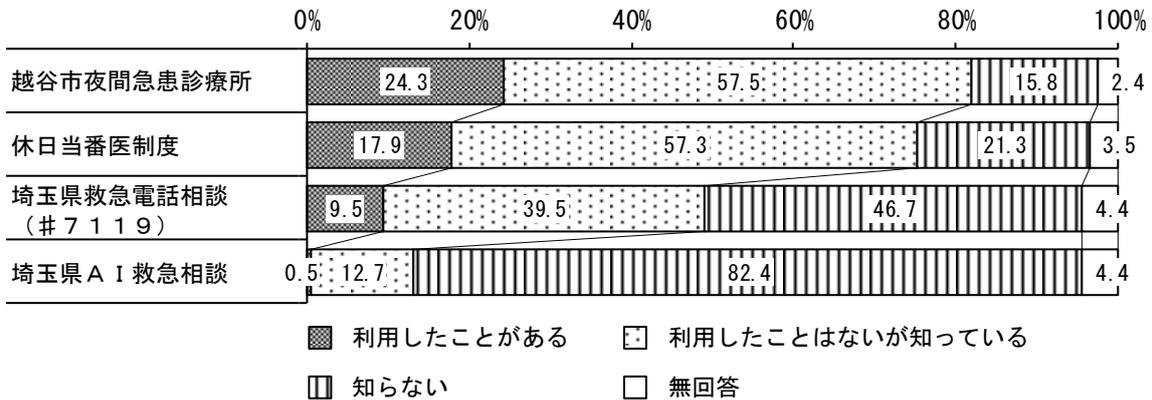


図 6-2 医療機関の情報の入手方法 (上位5項目) (n=2,925)

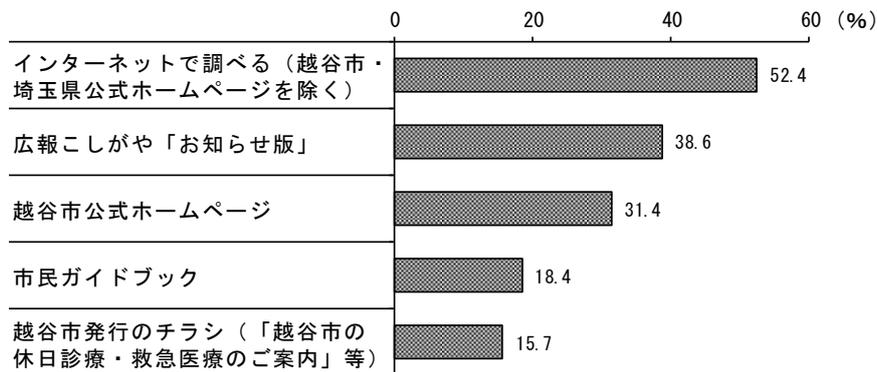
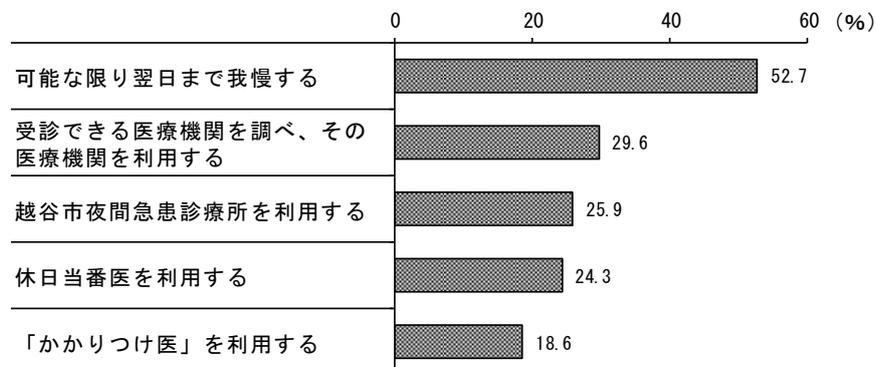


図 6-3 夜間や休日における急病の対応 (上位5項目) (n=2,925)



7. 人権全般に関する意識について

- 今の日本社会において、基本的人権が『尊重されている』（「十分尊重されている」と「やや尊重されている」の合計）と思う人は6割半ば。
- 10年前と比べた人権意識は、『高くなっている』（「非常に高くなっている」と「やや高くなっている」の合計）と思う人が4割半ば。
- 関心のある人権問題は、「インターネット上における人権問題」が4割半ばで最も多い。
- 日常生活の中で人権が侵害されたと感じたことが「ある」は約2割、「ない」は約6割。
- 人権侵害を感じた内容は、「職場において、不当な待遇や上司の言動を受けた」が5割弱で最も多い。

図 7-1 基本的人権の意識 (n=2,925)

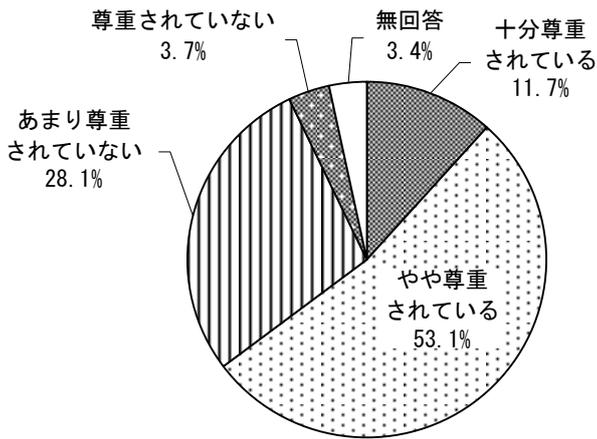


図 7-2 人権意識の変化 (n=2,925)

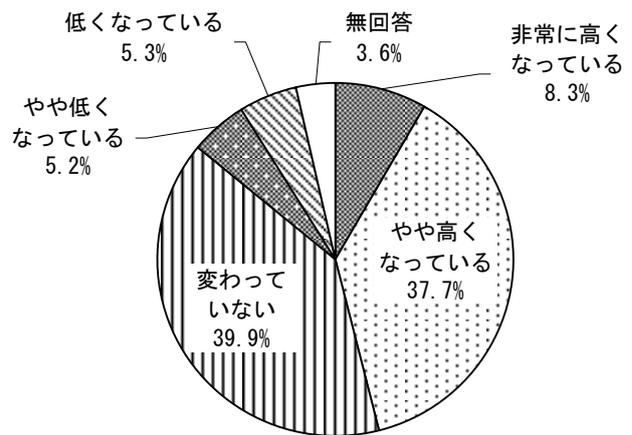


図 7-3 関心のある人権問題 (上位5項目) (n=2,925)

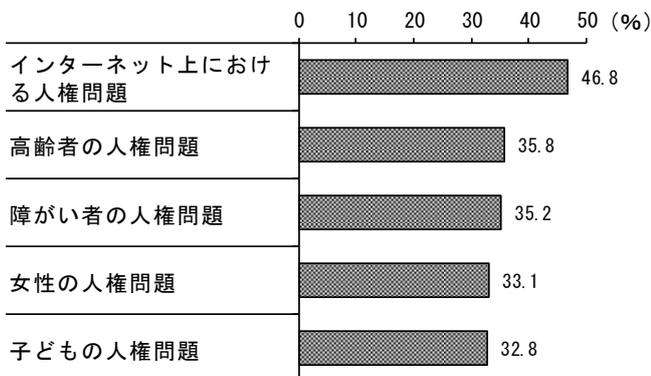


図 7-4 人権侵害を感じたこと (n=2,925)

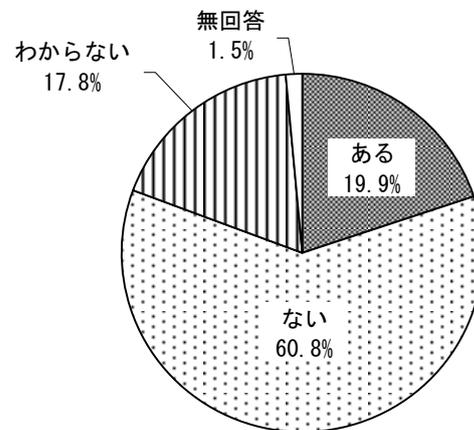
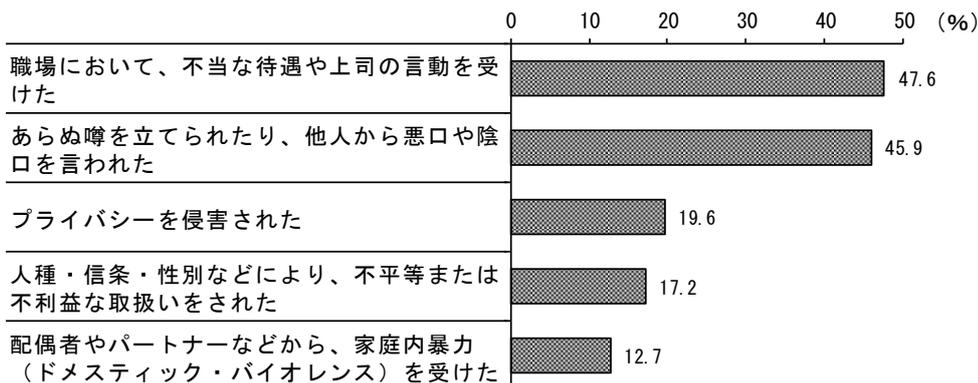


図 7-5 人権侵害を感じた内容 (上位5項目) (n=582)



8. 男女共同参画について

- 男女平等について、「平等になっている」は「教育の中で」が4割弱、「平等になっていない」は「社会通念や風潮において」が4割半ばで最も多い。
- 1日の生活で希望どおりの時間配分ができているか聞いたところ、『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が6割弱、『そう思わない』（「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計）が4割弱。
- LGBTなどの人たちのために必要な取組みは、「学校教育の充実」が5割弱で最も多い。
- 男女共同参画施設が今後力を入れることは、「いつでも誰でも気軽に立ち寄れる交流の場」が5割弱で最も多い。

図 8-1 各分野での男女平等 (n=2, 925)

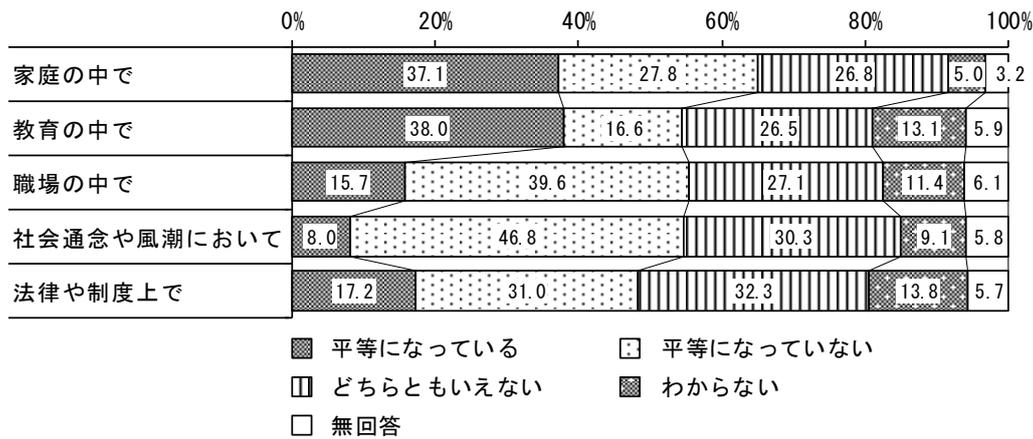


図 8-2 1日の生活で希望どおりの時間配分ができているか (n=2, 925)

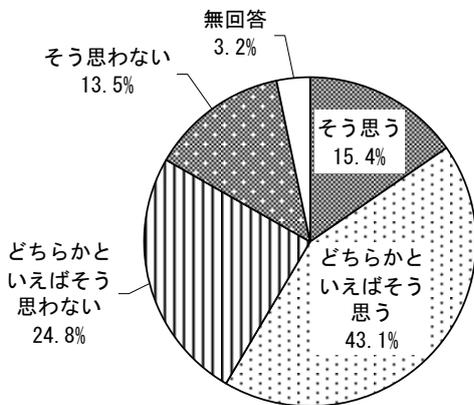


図 8-3 LGBTなどの人たちのために必要な取組み (上位5項目) (n=2, 925)

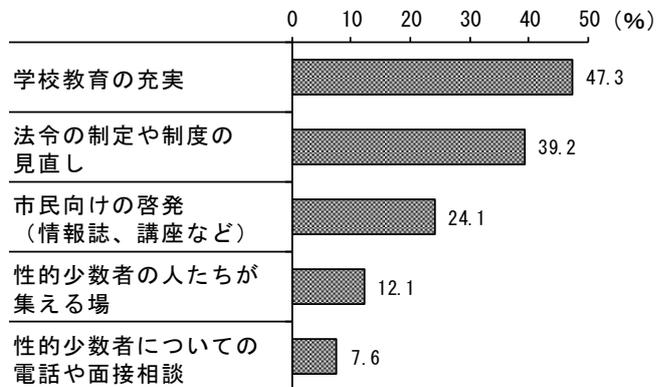
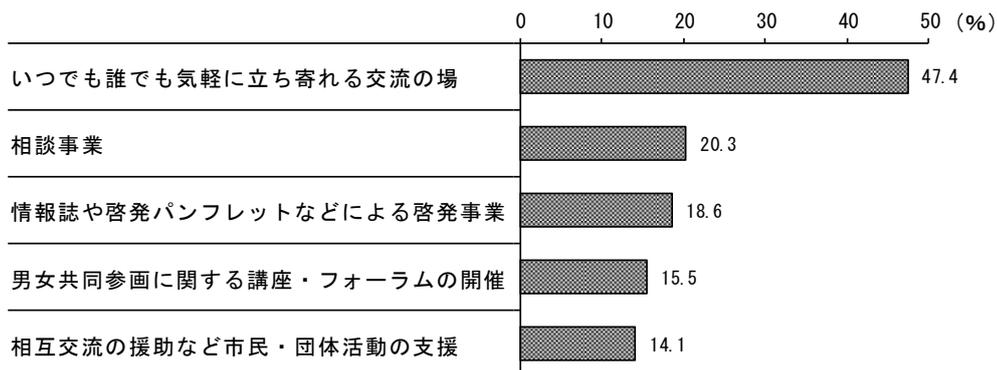


図 8-4 男女共同参画施設が今後力を入れること (上位5項目) (n=2, 925)



9. 自殺防止について

- 自殺（自死）したいと考えたことがある人（「はい」）は2割弱。
- 自殺（自死）したいと考えた理由は、「家庭問題」が約4割で最も多い。
- 自殺（自死）について相談する相手は、「配偶者」が約2割で最も多い。
- 相談窓口を認知している人（「はい」）は1割半ば。
- 自殺防止に最も効果的な対策は、「資金繰りや多重債務など経済的な問題に関する相談」が2割半ばで最も多い。

図 9-1 自殺（自死）したいと考えたこと
(n=2,925)

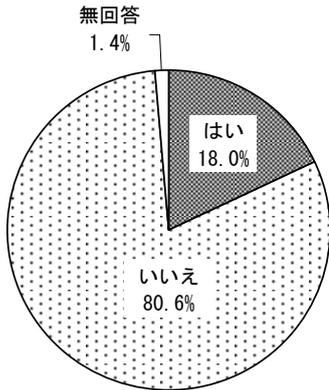


図 9-2 自殺（自死）したいと考えた理由
(上位 5 項目) (n=526)

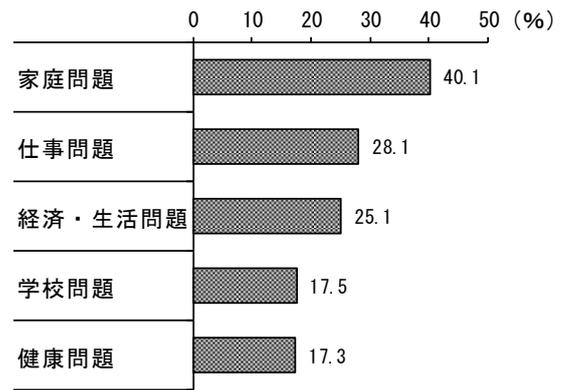


図 9-3 自殺（自死）について相談する相手
(上位 5 項目) (n=2,925)

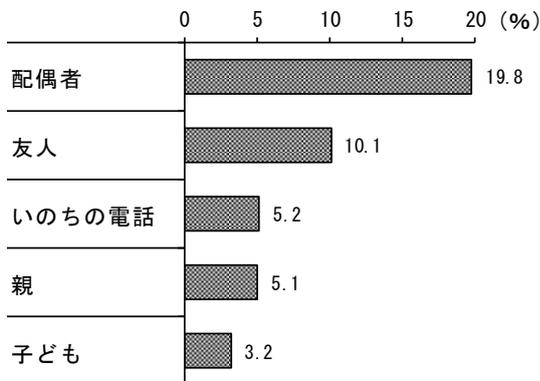


図 9-4 自殺（自死）に関する相談窓口の認知度
(n=2,925)

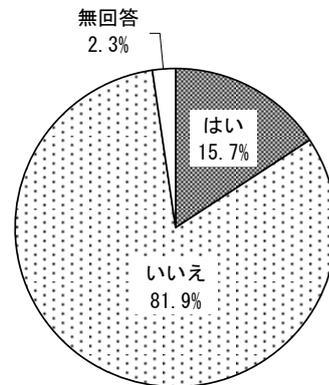
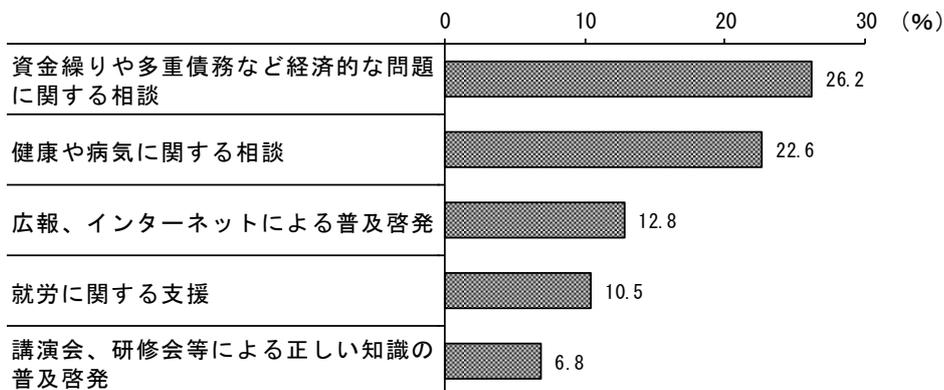


図 9-5 自殺防止に最も効果的な対策 (上位 5 項目) (n=2,925)



10. 自治基本条例について

- 「越谷市自治基本条例」の認知度は、『知っている』（「よく知っている」と「まあまあ知っている」の合計）が1割弱。
- 「越谷市自治基本条例」を知ったきっかけは、「広報こしがや」が約8割で最も多い。
- 市政に参加する方法のうち、関心のあるものは、「アンケート」が4割強で最も多い。
- 関心のあるまちづくりの分野は、「暮らしの安全・安心に関すること（防災、防犯、消防、消費生活など）」が7割弱で最も多い。
- 越谷市のまちづくりのためにできることは、「お祭りや町内会・自治会などが主催するイベントに参加する」が約5割で最も多い。

図 10-1 「越谷市自治基本条例」の認知度
(n=2,925)

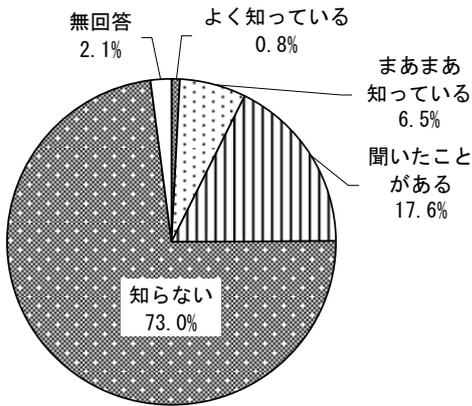


図 10-2 「越谷市自治基本条例」を知ったきっかけ
(上位 5 項目) (n=729)

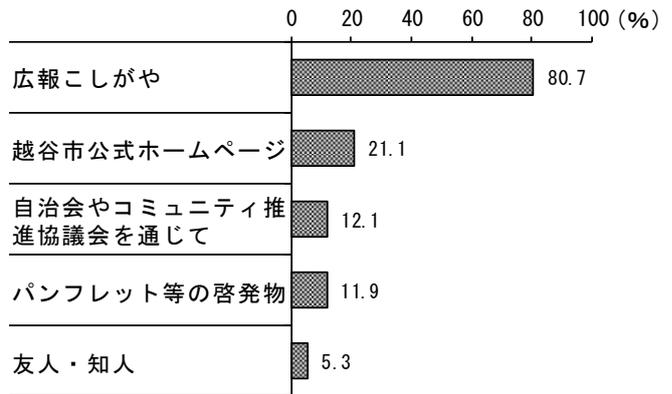


図 10-3 市政に参加する方法 (上位 5 項目)
(n=2,925)

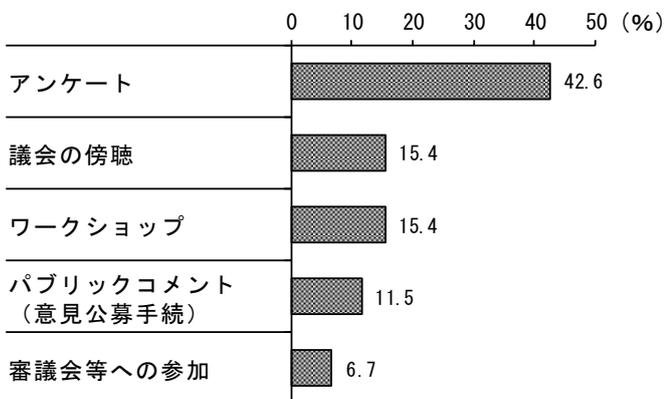


図 10-4 関心のあるまちづくりの分野
(上位 5 項目) (n=2,925)

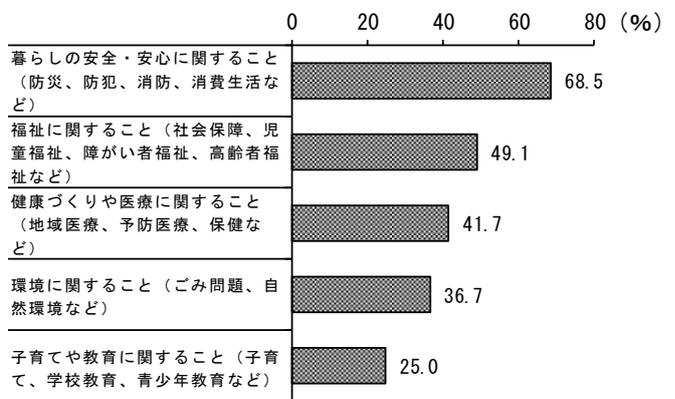
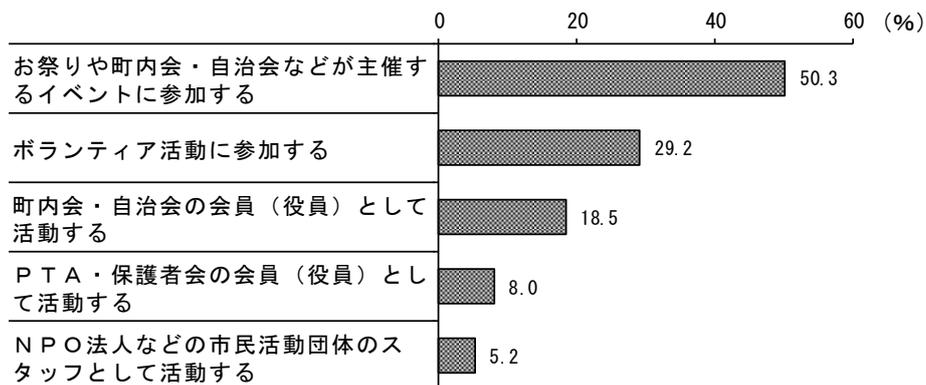


図 10-5 越谷市のまちづくりのためにできること (上位 5 項目) (n=2,925)



11. 多文化共生のまちづくりについて

- 外国人市民とのつき合いは、「近くに住んでいない、または近くに住んでいるかどうかわからない」が約7割で最も多い。
- 外国人市民との関係で困った経験は、「特になし」が8割弱で最も多い。
- 「多文化共生」という言葉の認知度は、『聞いたことがある』（「聞いたことがあり、意味も理解している」と「聞いたことはあるが、意味はよく知らない」の合計）が約6割。
- 「多文化共生のまち」づくりのために、市が力を入れるべきことは、「外国人市民に対して、日本の文化や生活情報を多様な言語で知らせる」が約6割で最も多い。

図 11-1 外国人市民とのつき合い
(n=2,925)

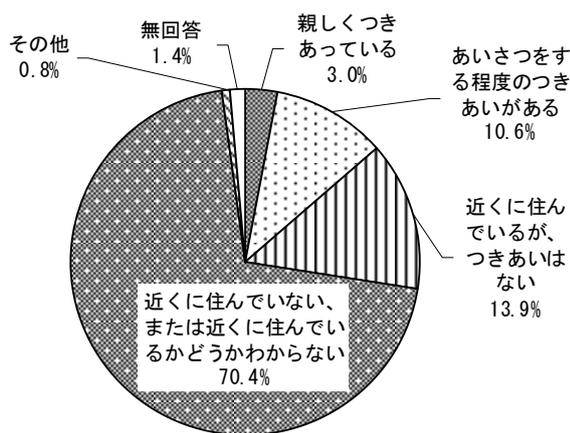


図 11-2 外国人市民との関係で困った経験
(上位5項目) (n=2,925)

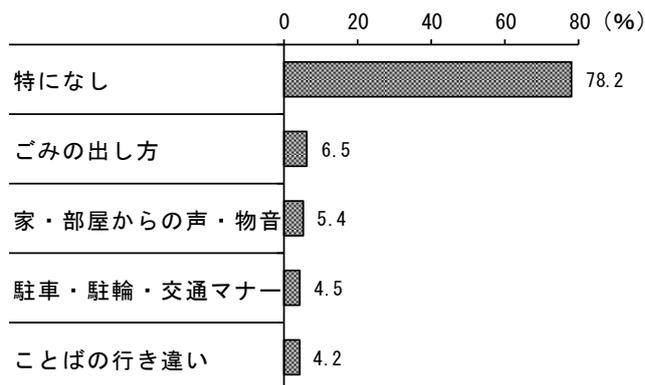


図 11-3 「多文化共生」という言葉の認知度
(n=2,925)

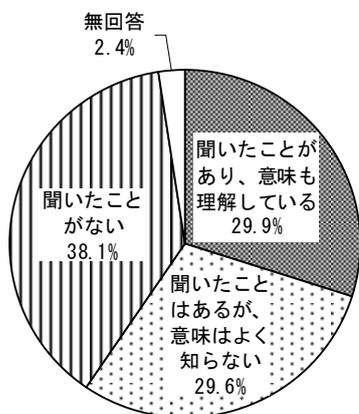
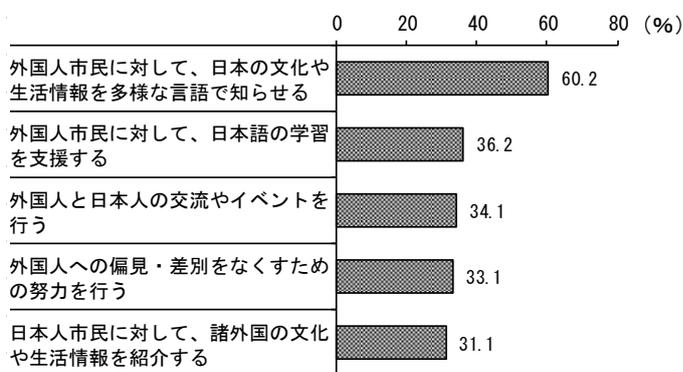


図 11-4 「多文化共生のまち」づくりのために、市が力を入れるべきこと
(上位5項目) (n=2,925)



12. マイナンバー制度について

- マイナンバーカードの保有率は、「持っている」が3割弱。
- マイナンバーカードの利用目的は、「身分証明・本人確認」が4割弱で最も多い。
- マイナンバーカードの取得予定は、「取得する予定である」が2割半ば。
- マイナンバーカードに期待することは、「いろいろな手続きがインターネットでできる」が約3割で最も多い。

図 12-1 マイナンバーカードの保有率
(n=2,925)

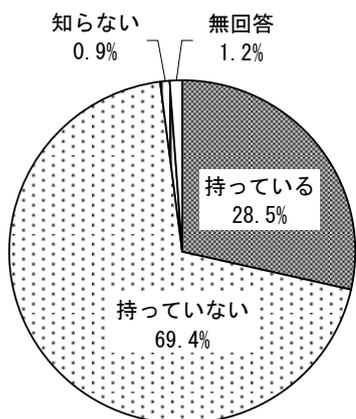


図 12-2 マイナンバーカードの利用目的
(n=835)

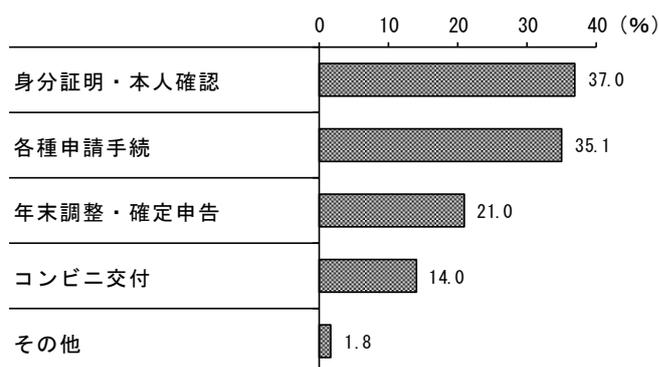


図 12-3 マイナンバーカードの取得予定
(n=2,056)

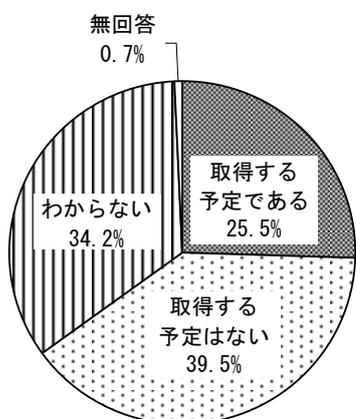
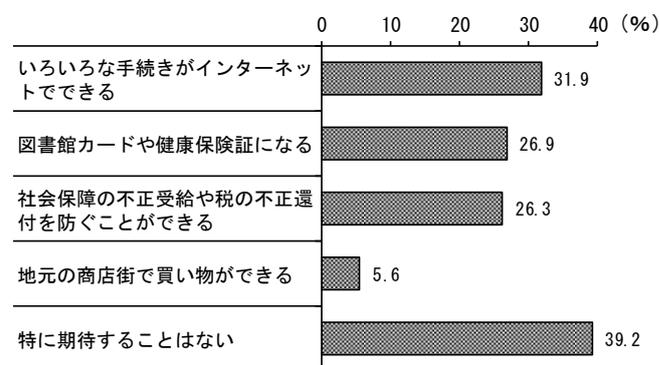


図 12-4 マイナンバー制度に期待すること
(n=2,925)



13. スポーツ・レクリエーションの実施状況について

- この1年間のスポーツ・レクリエーション活動の実施状況は、『週1回以上』（「週に3回以上」と「週に1～2回程度」の合計）が4割半ば。
- 活動を行った主な理由は、「運動不足解消」が約7割で最も多い。
- 活動の効果は、「運動不足が解消した」が5割で最も多い。
- 活動を行っていない理由は、「仕事（家事、育児も含む）や勉強が忙しいから」が4割半ばで最も多い。
- 今後、行ってみたい活動は、比較的軽いスポーツが「ウォーキング」、野外活動が「ハイキング」、競技的スポーツが「バドミントン」で最も多い。

図 13-1 スポーツ・レクリエーション活動の実施状況 (n=2,925)

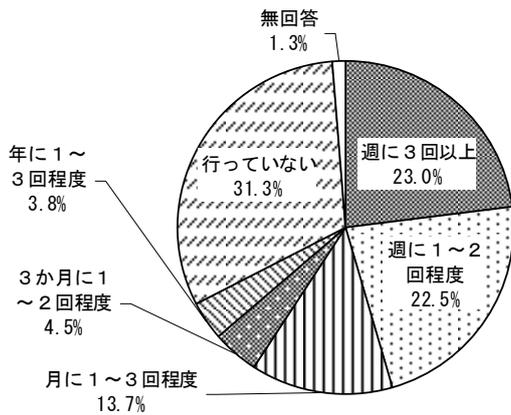


図 13-2 スポーツ・レクリエーション活動を行った主な理由 (上位5項目) (n=1,972)

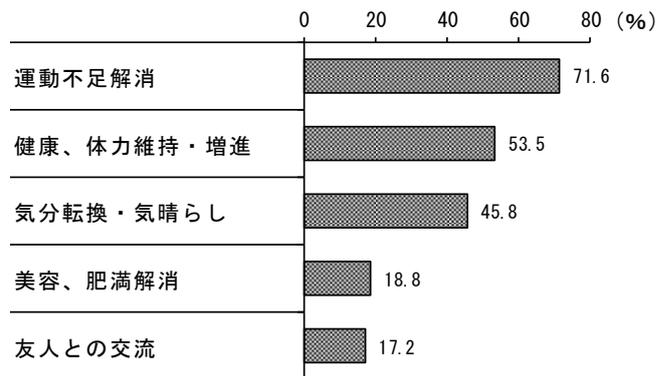


図 13-3 スポーツ・レクリエーション活動の効果 (上位5項目) (n=1,331)

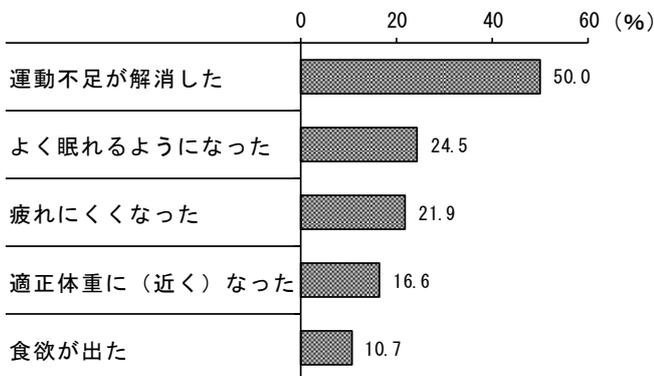


図 13-4 スポーツ・レクリエーション活動を行っていない理由 (上位5項目) (n=916)

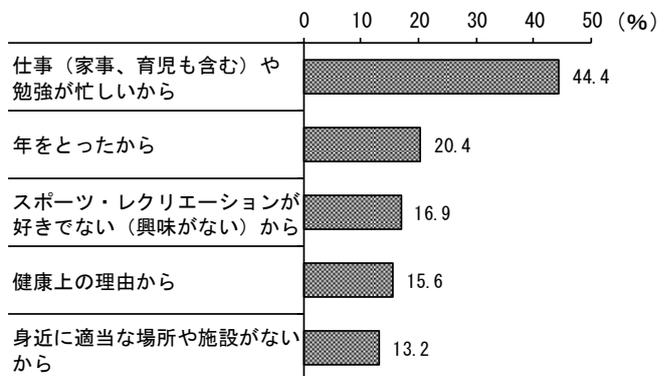
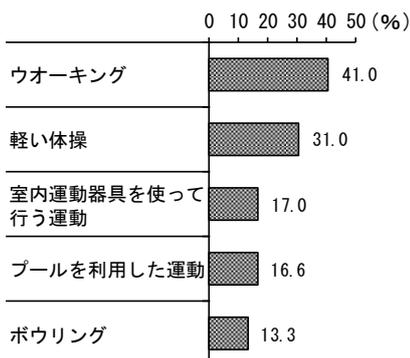
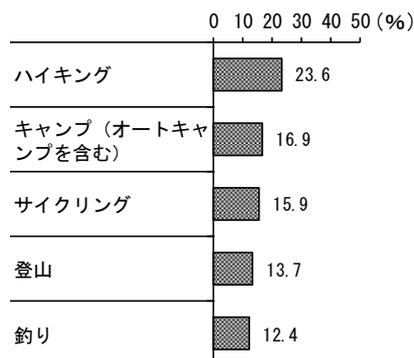


図 13-5 今後、行ってみたいと思うスポーツ・レクリエーション活動 (上位5項目) (n=2,925)

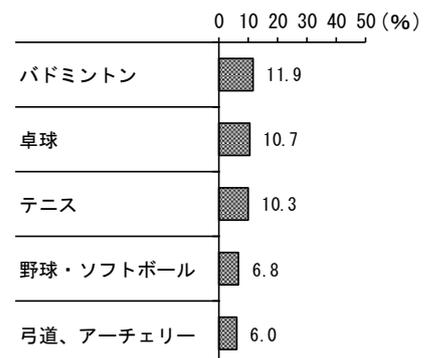
—比較的軽いスポーツ—



—野外活動—



—競技的スポーツ—



14. 広報について

- 市政情報を主に得ているものは、「広報こしがや『お知らせ版』や『季刊版』」が7割弱で最も多い。
- 市政情報を得るために活用したことがあるものは、「広報こしがや『お知らせ版』や『季刊版』」が8割弱で最も多い。
- 広報こしがやの感想は、『わかりやすい』（「わかりやすい」と「おおむねわかりやすい」の合計）が「お知らせ版」で7割強、「季刊版」で6割半ば。
- 広報こしがやでわかりにくい点は、「お知らせ版」は「紙面構成・レイアウトの課題」（読みづらい、文字が小さいなど）、「情報の質」（ほしい情報がない、情報が古いなど）、「季刊版」は「紙面構成・レイアウトの課題」（季刊版としての特徴がない、見た目の改善が必要など）など。

図 14-1 市政情報を得ているもの（上位 5 項目）
(n=2, 925)

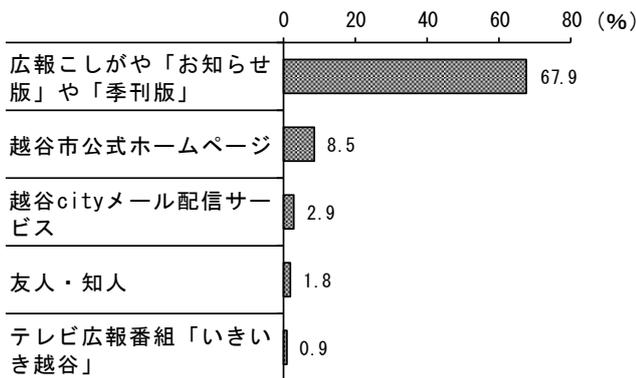


図 14-2 市政情報を得るために活用したことがあるもの（上位 5 項目）(n=2, 925)

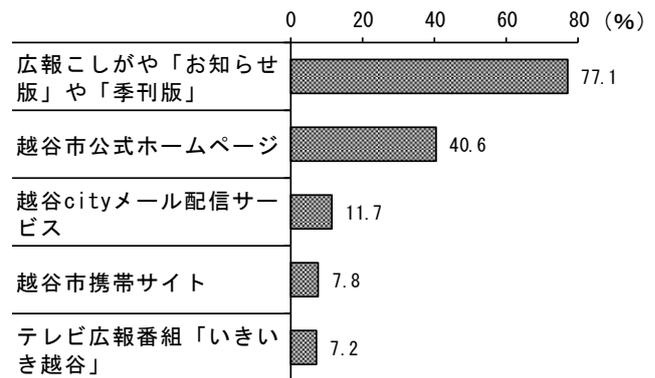


図 14-3 広報こしがや「お知らせ版」「季刊版」の感想 (n=2, 254)

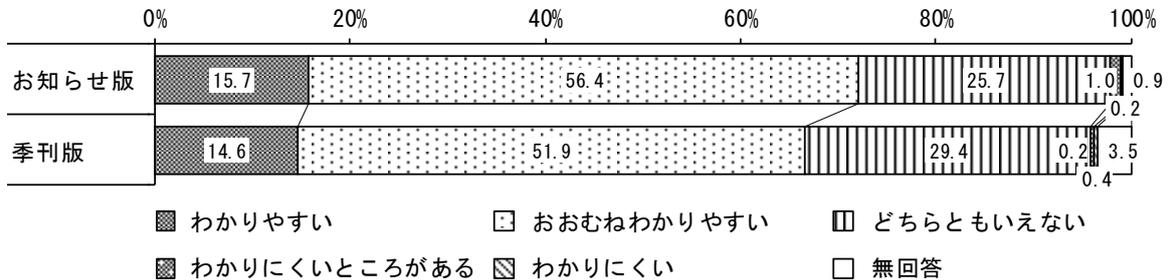


図 14-4 広報こしがや「お知らせ版」のわかりにくい点 (n=27)

内容	件数
紙面構成・レイアウトの課題	18
紙面がわかりづらい、読みづらい	8
文字が小さい、多すぎる	5
言葉遣いが難解、主旨が伝わりにくい	5
情報の質	8
ほしい情報がない、情報不足	5
情報が古い、不正確な情報	2
情報過多	1
その他	3

図 14-5 広報こしがや「季刊版」のわかりにくい点 (n=13)

内容	件数
紙面構成・レイアウトの課題	7
季刊版としての特徴がない、見た目の改善が必要	3
文章がわかりづらい	2
カラーページは不要	1
文字が細かい	1
その他	2

15. 越谷市の施策について

- 市の施策について、ここ数年のうちで「よくなってきたと感じるもの」は、「駅周辺の整備」が3割強で最も多い。
- 今後の市政の中で「特に力を入れるべきだと思われるもの」は、「水害や地震などの災害対策」が3割半ばで最も多い。

図 15-1 よくなってきたと感じるもの
(上位 10 項目) (n=2, 925)

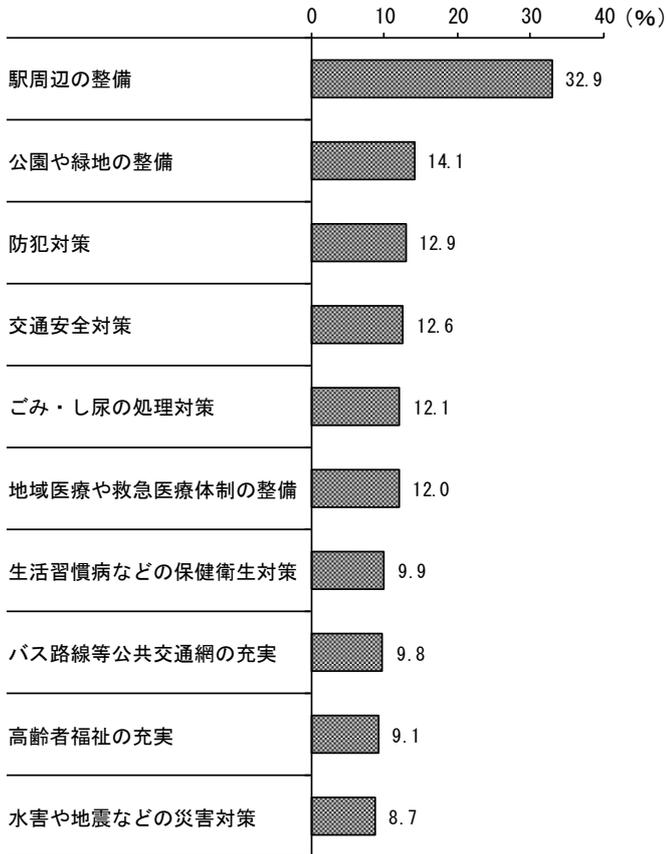
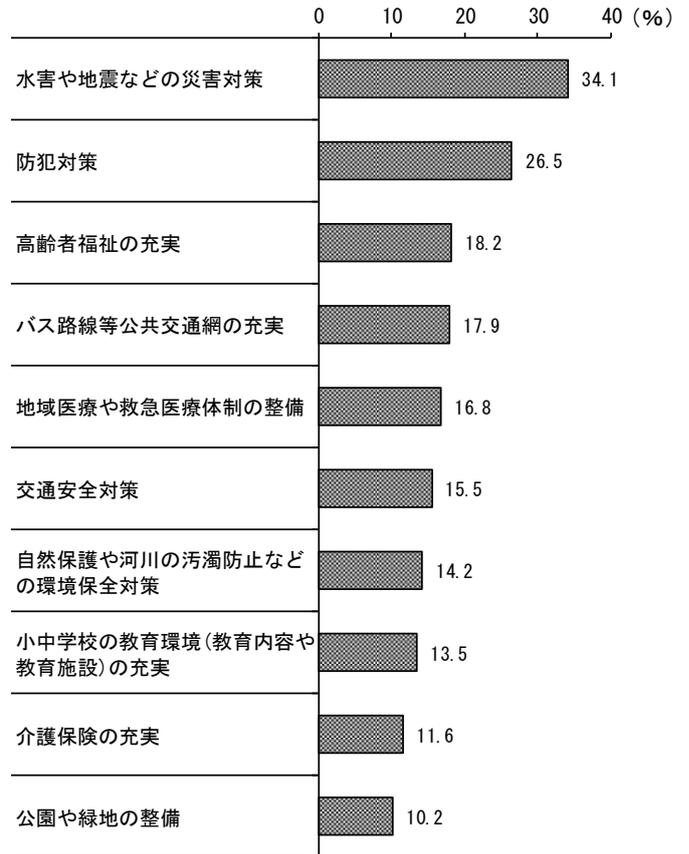


図 15-2 特に力を入れるべきだと思われるもの
(上位 10 項目) (n=2, 925)



令和2年度 市政世論調査結果報告書

令和2年11月

発行：越谷市 市長公室 広報広聴課
〒343-8501 埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目2番1号
電話 048(963)9117 (直通)

調査実施：株式会社 物流科学研究所
〒330-0052 さいたま市浦和区本太2-2-36
SUNCREST 302
電話 048(887)3790
